

第18回 エレクトロニクス基礎研究所公開シンポジウム  
原子・分子レベルでの材料創製とキャラクタリゼーション

「有機エレクトロニクス研究開発の最前線  
—分子技術からデバイス応用まで—」

主催：大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所

本公開シンポジウムは原子・分子レベルで制御した材料創製とキャラクタリゼーション手法に関する最近の研究成果を議論することにより、研究の一層の発展を促すとともに、若手研究者の研究推進の一助に資することを目的として毎年一回開催されております。

本年は「有機エレクトロニクス研究開発の最前線—分子技術からデバイス応用まで—」を主題に本学の研究と関連が深いテーマを選び、企画いたしました。

皆様方にお越しいただき活発な議論を行っていただくことを期待しております。

日時：2010年12月17日（金） 午前10時より午後4時30分まで  
場所：大阪電気通信大学 旧図書館小ホール  
寝屋川市初町18-8 電話 072-824-1131(代表)  
(京阪電鉄 寝屋川市駅より東南700m：<http://www.osakac.ac.jp> 参照)  
聴講無料

1. 10:00~10:05 主催者挨拶 エレクトロニクス基礎研究所 所長 越川 孝範
2. 10:05~11:05 『分子ナノ技術の現状と戦略』  
大阪大学基礎工学研究科 畠田 博一
- 11:05~11:20 <<休憩 15分>>
3. 11:20~12:05 『有機EL照明の現状と今後』  
パナソニック電工 辻 博也
4. 12:05~12:50 『高分子系逆型有機薄膜太陽電池の現状と今後』  
金沢大学 高橋 光信
- 12:50~14:30 <<昼食・休憩 1時間40分>>
5. 14:30~15:15 『有機薄膜太陽電池の基礎と効率向上の方法』  
分子科学研究所 平本 昌宏
6. 15:15~16:00 『有機トランジスタのデバイス物理』  
産業技術総合研究所 長谷川 達生
7. 16:00~16:30 『有機分子を活物質とする二次電池開発の現状と課題』  
大阪電気通信大学 青沼 秀児
- 16:45~18:15 懇親会（学内 新学生ホールにて）

主催 大阪電気通信大学・エレクトロニクス基礎研究所

協賛 応用物理学会・関西支部、電子情報通信学会・関西支部、日本表面科学会・関西支部、  
日本真空協会・関西支部、日本化学会